

ニュースクリップ & 映像教材

■愛媛県西条市「ICTを活用したスマートスクール実証事業研究大会」を開催

愛媛県西条市は、校務系と学習系データを掛け合わせた「カルテ」を作成し、このカルテを活用した授業・指導改善・学校経営改善の標記研究を進めており、11月6日（水）、その成果を市内小中学校において発表する。

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/gakkokyoiku/gk00155.html>



文部科学省情報

■創立70周年記念シンポジウムー次世代の教育の創造と国立教育政策研究所の未来ー

国立教育政策研究所は、創立70周年を記念した標記シンポジウムを開催する。

<日時>令和元年11月8日（金）13:30~17:30

<会場>文部科学省3階講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

<内容>記念講演「新時代の到来を見据えた次世代の教育行政の創造（仮）」、プロジェクト研究報告「高度情報技術を活用した教育革新の展望と検討課題」他、パネルディスカッション等。

<問い合わせ先>国立教育政策研究所創立70周年記念シンポジウム申込事務局（株）ステージ TEL 03-5966-5779（受付時間10:00~19:00 土日祝日除）

AV情報

■eラーニングアワード2019フォーラム

「教育ICTを取り巻く現状と未来」について、事

例紹介・発表・議論する標記フォーラムが、（一社）e-Learning Initiative Japan他主催により開催される。

<日時>令和元年11月13日（水）~15日（金）9:00~18:00

<会場>お茶の水ソラシティカンファレンスセンター（東京都千代田区神田駿河台4-6）

<内容>講演、セミナー、日本e-Learning大賞発表等。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.elearningawards.jp/>

<問い合わせ先>eラーニングアワードフォーラム運営事務局 MAIL info@elearningawards.jp

■2019国際放送機器展（InterBEE2019）

（一社）電子情報技術産業協会では、音と映像と通信の標記国際展示会を先端デジタルコンテンツ技術をテーマとした「デジタルコンテンツ EXPO 2019」と同時開催する。

<日時>令和元年11月13日（水）~15日（金）10:00~17:30、15日は17:00まで。

<会場>幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

<内容>プロオーディオ、映像表現/プロライテ

ィング、映像制作/放送関連機材、ICT/クロスメディアの4部門の展示、基調講演、セッション等。
 <問い合わせ先> (一社) 日本エレクトロニクスショー協会 TEL 03-6212-5231

■第39回「地方の時代」映像祭

「地域が時代(とき)の風を伝える」をサブテーマとした標記映像祭が吹田市、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟の共同主催により開催される。

<日程> 令和元年11月16日(土)~22日(金)

<会場> 関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市山手町3-3-35)、同梅田キャンパス(大阪市北区鶴野町1-5)

<内容> 贈賞式、記念講演、グランプリ作品上映、シンポジウム、ワークショップ、受賞作品上映等。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.chihounojidai.jp>

<問い合わせ先> 「地方の時代」映像祭実行委員会事務局 TEL 06-6363-3874

■2019年度「下中科学研究助成金」募集要項

(公財) 下中記念財団は、教員や研究員が行っている研究を助成するため、助成先の募集を行っている。
 <応募資格者> 全国小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校の教員、教育センターや教育委員会等において教育実務を行う者を対象とし、研究は個人、共同を問わない。ただし、応募は一人1点に限る。

<対象分野> 算数・数学/理科教育/技術・家庭/国語/地歴・公民/外国語/図工・芸術/保健体育/特別活動/道徳/特別支援教育/生活・総合学習/情報教育/国際理解教育等。

<助成金額> 総額900万円。1件あたり、30万円、30件を予定。

<締切> 令和元年12月10日(火) 消印有効。

<問い合わせ先> (公財) 下中記念財団事務局 TEL 03-5261-5688

コンクール情報

■映文連アワード2019受賞作品決定

(公社) 映像文化製作者連盟が主催する標記アワードには、「コーポレート・コミュニケーション部門」、「ソーシャル・コミュニケーション部門」、

「パーソナル・コミュニケーション部門」の3つの部門があり、本年度は3部門を合わせて125作品の応募の中から、最優秀作品賞(グランプリ)「新日本風土記 佃・月島」(テレコムスタッフ(株)他)、文部科学大臣賞「礼文 日本最北の『遺跡の島』」(北海道映像記録(株))等を決定した。他受賞作品は、下記を参照のこと。

<http://www.eibunren.or.jp/>

<問い合わせ先> (公社) 映像文化製作者連盟 TEL 03-3662-0236

■第31回丹波篠山映像大賞作品募集

丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、丹波篠山映像祭実行委員会主催による標記全国アマチュア映像コンテストでは作品を募集している。

<募集作品テーマ> 「生きる」(7分以内)

<応募資格> アマチュア(映像制作を職業にしていない人)。個人、団体、年齢、国籍等は問わない。

<応募条件> DVD-R、BD-Rのメディアで応募。2017年以降に制作された作品他。

<賞> 映像大賞10万円、兵庫県知事賞5万円、丹波篠山市長賞3万円他。

<締切> 令和元年11月30日(土) 必着。

<問い合わせ先> 丹波篠山映像祭実行委員会事務局 TEL 079-590-1301

各地の情報

■関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会 群馬大会 第69回関東甲信越地方放送教育研究大会 第46回群馬県学校情報教育研究大会 第66回関東甲信越学校視聴覚教育研究大会 第67回群馬県高等学校メディア教育研究大会

日本学校視聴覚教育連盟他主催により、「未来を拓く豊かな学びの創造—豊かな感性と確かな学力を育てる教育メディアの活用—」を大会主題に標記大会が開催される。

<日程> 令和元年11月6日(水) 9:00~16:15

<会場> 群馬県高崎市立南小学校(群馬県高崎市八島町70-1) 他。

<内容> 公開授業、課題研究会、講演会等。

<問い合わせ先> 群馬県前橋市立富士見中学校 TEL 027-288-2620

■長野県高等学校視聴覚教育研究会秋期研究会

長野県高等学校視聴覚教育研究会では、標記研究会を開催する。

<日時>令和元年10月11日(金) 12:30~16:20
<会場>長野県総合教育センター(長野県塩尻市大字片丘南唐沢6342-4)

<内容>メディア・放送教育、芸術鑑賞、映像教材ライブラリー、情報技術の各部会。

<問い合わせ先>長野県高等学校視聴覚教育研究会事務局 長野県須坂東高等学校内 TEL 026-245-1060

■学校とICTフォーラム名古屋

(一社)日本教育情報化振興会では、「2020へ向けて一教育の情報化における現状の課題への対策」をテーマに標記フォーラムを開催する。

<日時>令和元年11月30日(土) 12:50~16:45
<会場>JPタワー名古屋(名古屋市中村区名駅1-1-1)

<対象>教員、教育委員会および自治体職員

<内容>基調講演、パネルディスカッション、展示、体験(学習活動ソフトウェア体験コーナー、ICT教育環境整備相談コーナー)等。

<問い合わせ先>「学校とICTフォーラム」事務局(Sky(株)内) TEL 06-4807-6374

■令和元年度高知県放送・視聴覚教育研究大会

高知県視聴覚教育研究会、土佐教育研究会視聴覚部会他主催により、「新たな時代を豊かに生き抜くため、探究する力を育てる放送・視聴覚教育の果たす役割を推し進めよう」を研究主題に標記大会が開催される。

<日時>令和元年10月21日(月) 11:40~16:45(開始は会場ごとに設定) 小学校・中学校・高等学校、30日(水) 10:00~12:00 幼稚園

<会場>認定こども園杉の子せと幼稚園(高知県高知市長浜6389-1)、高知市立第六小学校(高知県高知市升形9-4)他。

<内容>公開保育・授業、研究協議、講演等。

<問い合わせ先>高知県香南市立佐古小学校 高知県放送教育研究協議会事務局 TEL 0887-56-0116

■Educational Solution Seminar2019 in松山

(一社)日本教育情報化振興会では、「これからのICTを活かした学びのスタイルを考える」を

テーマに標記セミナーを開催する。

<日時>令和元年11月2日(土) 11:30~16:40
<会場>テクノプラザ愛媛(愛媛県松山市久米窪田町337-1)

<内容>セミナー、プログラミング体験、展示見学等。

<問い合わせ先>富士電機ITソリューション(株) MAIL nishi-ess@fujielectric.com

■第28回青少年インターネット利用環境づくりフォーラムin愛媛

内閣府主催による標記フォーラムが開催される。

<日時>令和元年11月14日(木) 10:00~16:00
<会場>愛媛県生涯学習センター(愛媛県松山市上野町甲650)

<内容>県内情勢の説明、基調講演、討議「ネット問題から子どもたちを守るために、今私たちがすべきことー連携体制の構築を目指してー」

<問い合わせ先>青少年インターネット利用環境づくりフォーラム事務局(株)プロセスユニーク内 TEL 03-6264-6433

文部科学省選定作品

■8月選定 [B] Blu-ray [紙] 紙しばい

「おべんとう わくわく せーの パカッ!」[紙]8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

「ひらひら ホッホロ」[紙]8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

「とりのす みーつけた!」[紙]8枚<幼児、教養>(株)童心社

「とんまなおおかみと かしこいうま」[紙]8枚<幼児、教養>(株)童心社

「まいりま・した!」[紙]8枚<幼児、教養>(株)童心社

「海ーいのちをめぐる旅」[B]15分<小学校中学年、特別の教科 道徳/少年、教養・情操(自然科学)>東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター

「介護絆つながって生こか」[B]97分<成人、教養>映画「介護絆つながって生こか」製作委員会映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

文部科学省情報

令和2年度概算要求について

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課

令和2年度文部科学省関係概算要求においては、「人生100年時代」や「Society5.0」の到来を見据えながら、日本を誰でもチャンスがあふれる国へ変えていくため、教育再生、科学技術イノベーション、スポーツ・文化の振興により、「人づくり革命」を断行し、「生産性革命」を実現することとしている。

文部科学省所管一般会計概算要求・要望額は、対前年度予算比12.2%増の5兆9,689億円。情報教育・外国語教育課の概算要求のうち、情報教育関係の内容は、以下のとおり。

1. GIGAスクールネットワーク構想の実現

374億円（新規）

Society5.0時代の学びの実現に必要な児童生徒一人一台環境に対応した高速かつ大容量の通信環境の遅れが危機的な状況であることから、全国の小・中学校、高等学校、特別支援学校等の全ての児童生徒が地域の格差なくこれら新時代の学びを享受できるよう、外部から学校内すべての教室までの高速かつ大容量な通信ネットワークの整備を推進する。

2. 新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業

19.5億円（拡充）

(1)学校における先端技術活用に関する実証事業
(2.0億円)

「誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学び」の実現に向け、効果的に活用できる先端技術の導入について実証を行う。

(2)遠隔教育システム導入実証研究事業
(1.1億円)

多様性のある学習環境や専門性の高い授業の実現等、遠隔教育システムの導入促進に係る実証を行う。

(3)新時代の学校におけるICT環境実証研究事業
(7.7億円)

児童生徒一人一台のPC環境や高速インターネットネットワーク等、新時代の学校におけるICT環境の構築方法や、その効果的な教育の在り方についての実証を行う。

(4)初等中等教育段階でのSINET活用に関する研究事業
(6.5億円)

初等中等教育におけるSINETの効果的な活用及び円滑な導入に向けて、ネットワークの物理的な構築やセキュリティ対策、運用体制などを含め、技術的な検討を行うとともに、トライアル実施校による実証を行う。

(5)ICT活用アドバイザー事業
(2.3億円)

学校のICT環境整備・活用を図る自治体に対する支援・助言を充実させるため、アドバイザーによる自治体担当者等を対象とした説明会の開催、常時相談体制の整備等を行う。

3. 小・中・高等学校を通じた情報教育強化事業

2.1億円（拡充）

(1)情報教育指導充実事業
(0.6億円)

①情報教育関係教科における免許外教科担任の解消に向けた調査研究を実施する。

②現職教員の情報教育に係る指導力向上に資する教員研修教材を作成する。

③指導体制充実のため、情報教育関係人材の活用を促進するための調査研究を実施する。

(2)プログラミング教育促進事業
(0.4億円)

新学習指導要領において小・中・高等学校を通じて充実されたプログラミング教育を確実に実施するため、指導事例などの情報提供等を行う。

(3)児童生徒の情報活用能力の把握に関する調査研究
(0.6億円)

小・中・高等学校等における児童生徒の情報活用能力調査を実施する。

(4)情報モラル教育推進事業
(0.4億円)

スマートフォンやSNSの急速な普及を踏まえ指導資料の改善や啓発資料の作成・配布等を行う。